

報告

第六十五回經濟研究会報告

五月二十三日(火) 於 經濟学部研究室

発表者 辻 博 助教授

座長 宗 藤 圭 三 教授

テーマ「日斐國現在人別論」の成立について

(出席者) 黒田、中西、松井、小松、今西、黒松、中島、相見、

岩根、小野、岡谷、匯、林、古米、野間、渡辺、

山下、西川(宏)、今村、森、湯淺

なお辻助教授の報告内容に関しては、本紙に詳しく掲載されているので参照されたい。

第六十六回經濟研究会報告

六月二十日(火) 於 經濟学部研究室

発表者 中島哲人 教授

座長 宗 藤 圭 三 教授

テーマ 総供給函数に関する一覽書

(出席者) 黒田、中西、小松、今西、黒松、相見、岩根、小野、

岡谷、西村、林、古米、辻、榊原、野間、渡辺、

山下、西川(宏)、今村、森、湯淺、小林

なお、中島教授の報告内容に関しては、近日同志社大学經濟学論叢に発表される予定です。

經濟学会春季講演会

六月八日(木) 午後一時 於 寧靜館二十一番

講師・景平 一雄氏

演題「石油工業の現状と将来」

經濟学会では学生諸君の研究の一助として毎年春秋の二回講演会を開催しているが、本講演会は、春季には学外から講師を招き、秋季には学内からお願いすることになっている。そこで今回の講演会もこの慣例により丸善石油株式会社取締役である景平一雄氏にお願いして、開催された。

黒松教授の講師紹介に引続いて景平氏の講演が行われた。

講演はまず石油の歴史から始まり、世界における原油埋蔵量とその分布、世界石油貿易の状況、エネルギー消費構造の变化、特に石炭と石油の関係、石油製品の需要と消費構造、世界の主要石油会社とその支配状況、自由諸国とソ連との関係、最後に以上の諸問題についての日本の現状と見通しについて話があった。

以上の諸問題について詳細なる統計資料が準備されていたので、学生諸君にとっても非常に明確なる石油工業についての理解が得られた。

最後に中西教授の閉会の挨拶をもって盛大裡に講演会の幕を閉じた。